

2. 課外活動

(1) サークルへの加入

問18. あなたはサークル又は同好会に加入していますか。

[複数のサークル又は同好会に加入している人は、主として活動しているものについて回答してください]

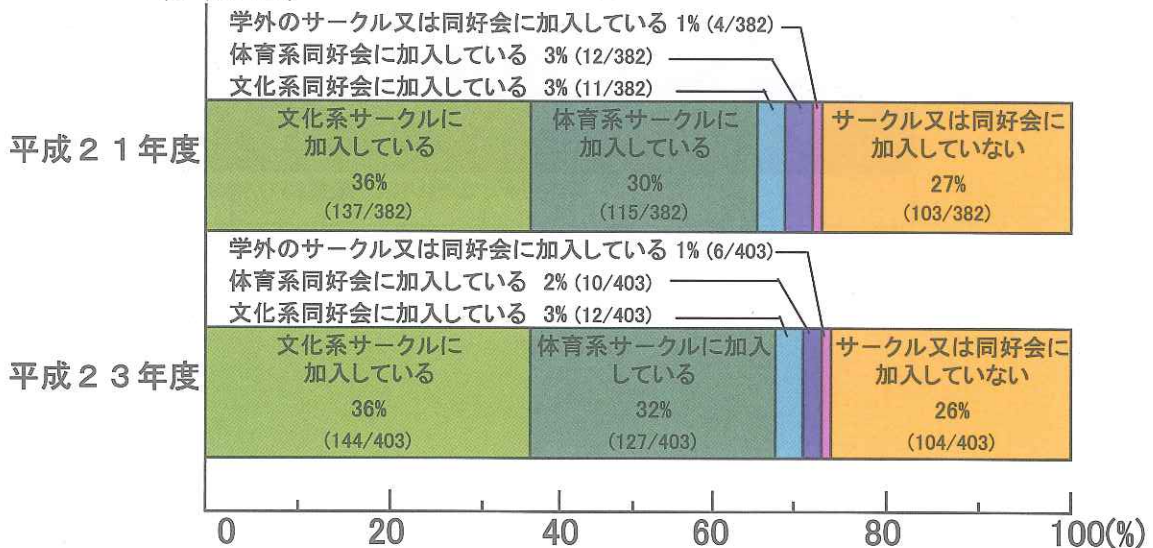
[1] 現状

平成23年度において、全体で74%の学生は、何らかのサークル又は同好会活動に加入していました。この割合は、平成21年度の結果とほぼ同様のものでした。具体的には平成23年度の調査で、文化系サークルに所属する学生と体育会系サークルに所属する学生は、各36%と32%でした。平成21年度の調査結果と比較すると、体育会系サークルに所属する学生が約2%増加していました。一方、平成23年度の調査で、学内の文化系および体育会系同好会あるいは学外の同好会に所属する学生は、各々3%、2%および1%でした。この結果は、平成21年度の調査結果からほとんど変化していませんでした。

[2] 課題(問題点)

今回の調査で、4人に1人の学生がサークルや同好会の活動に参加していない現状が明らかになりました。しかし、大学におけるサークル・同好会活動は、大学生活における人間関係の構築など重要な役割の一端を担っていると考えられます。その意味からすると、より多くの学生が積極的にサークルや同好会の活動に参加することが望ましいと考えられます。

〈グラフ18〉



(2)サークル加入の動機

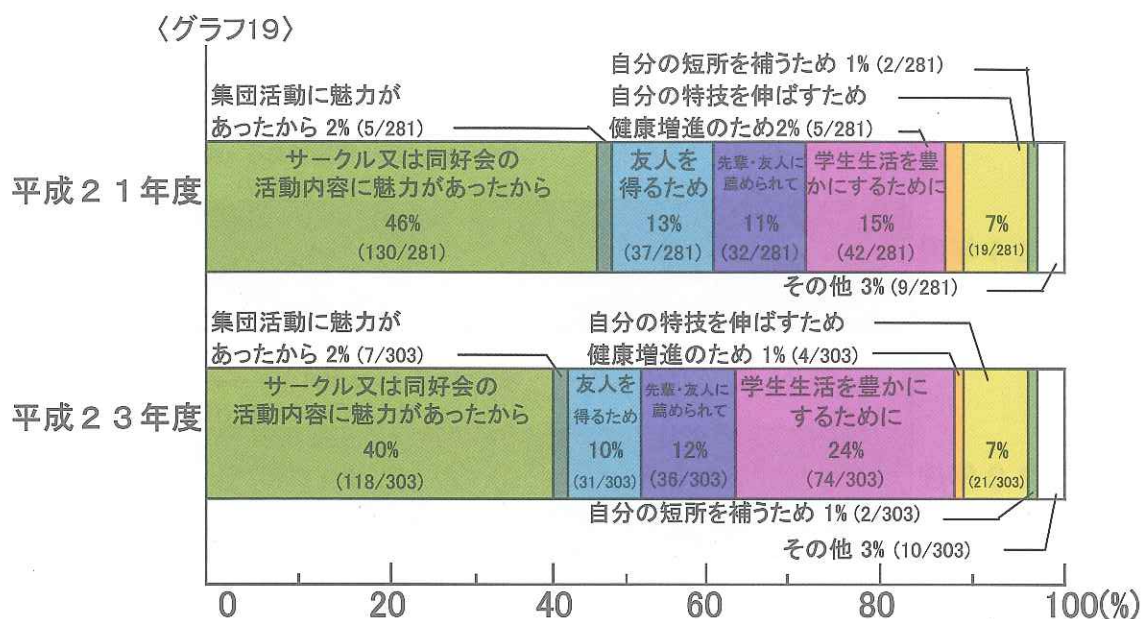
問19. あなたがサークル又は同好会に加入した動機は何ですか。次のうちから一つ選んで答えてください。

[現在、加入している人のみ回答してください]

[1]現状

平成23年度の調査において、サークル又は同好会活動に参加した動機で一番多い理由は、「サークル又は同好会の活動内容に魅力があったから」で40%を占めていました。次いで、「学生生活を豊かにするために」が24%、「先輩・友人に薦められて」が12%、「友人を得るため」が10%、「自分の技術を伸ばすため」が7%、「集団活動に魅力があったから」が2%の順となりました。

平成21年度の調査結果と比べると、「サークル又は同好会の活動内容に魅力があったから」が6%減少し、一方で「学生生活を豊かにするために」が9%増加しました。また、「友人を得るため」が3%減少しました。なお、その他の項目については、平成21年度と平成23年度間では、ほぼ同様の結果となりました。



(3)サークルの感想

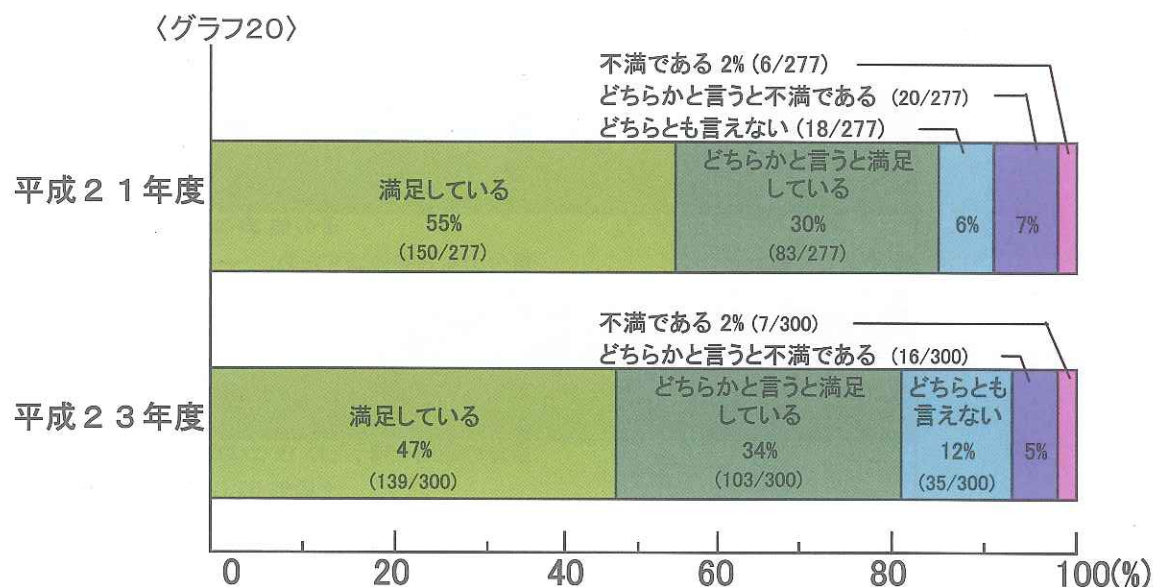
問20. サークル又は同好会に参加してどのような感想を持っていますか。
〔現在、加入している人のみ回答してください〕

[1]現状

平成23年度の調査では、「満足している」あるいは「どちらかと言うと満足している」と答えた学生は、81%となりました。一方、「不満である」あるいは「どちらかと言うと不満である」と答えた学生は、7%となりました。平成21年度の結果と比較すると、平成23年度では「満足している」が8%減少し、「どちらかと言うと満足している」が4%増加し、また「どちらとも言えない」が6%増加しました。さらに、「不満である」が変化なく、「どちらかと言うと不満である」が2%減少しました。

[2]課題(問題点)

「満足している」あるいは「どちらかと言うと満足している」と答えた学生が全体で8割を超えていることから現状に重大な問題点があるとは思われません。ただ、平成21年度の結果と比較して、「満足している」が8%減少したことから、今後の推移を注視する必要があると思われま



(4) 学業との両立

問21. あなたはサークル又は同好会活動と学業を両立していますか。
〔現在、加入している人のみ回答してください〕

〔1〕現状

平成23年度の調査では、「学業と両立している」と「学業がすこし犠牲になっている」と答えた学生は、各々76%と21%でした。一方、「学業がかなり犠牲になっている」と答えた学生は3%でした。この結果は平成21年度の調査結果と比較すると、「学業と両立している」が5%増加し、「学業がすこし犠牲になっている」が4%減少し、「学業がかなり犠牲になっている」が1%減少していました。

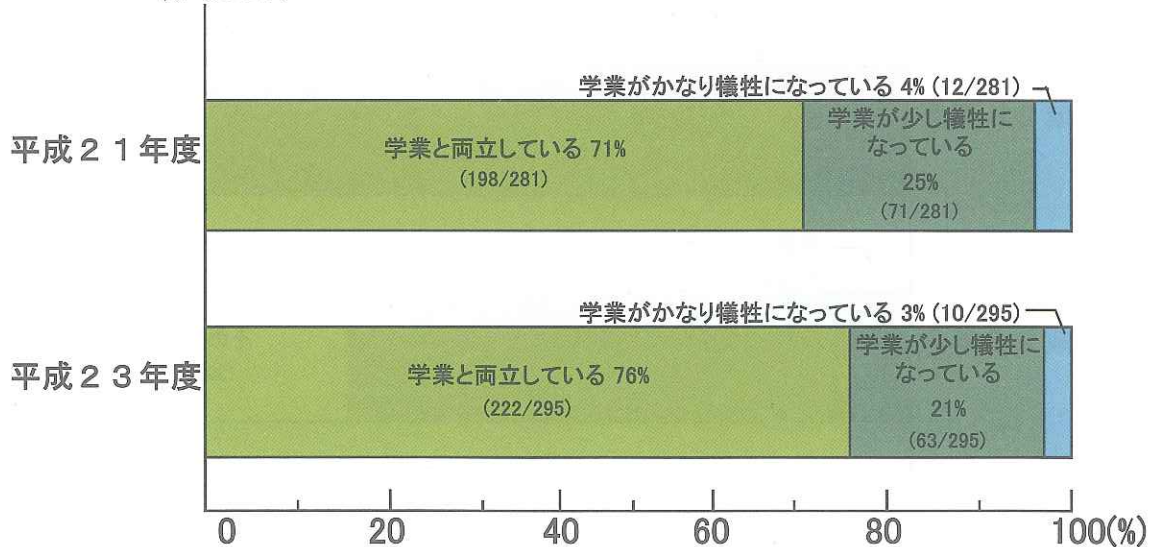
〔2〕課題(問題点)

平成21年度の結果と比べて、「学業と両立している」が増加し、「学業がすこし犠牲になっている」が減少していることから、やや改善されているように思われます。ただ、3%は「学業がかなり犠牲になっている」と答えています。この割合を今後改善する必要があると思われます。

〔3〕対応

学業がかなり犠牲になっていると思われる学生がいるサークル等の顧問は、注意を促すことが必要であると思われます。また、より具体的なアンケート調査を実施し、学業がかなり犠牲になっている学生の多いサークル名や学業の妨げになっている理由を把握し、必要なら改善を促す必要があると思われます。

〈グラフ21〉



(5)サークルに加入しない理由

問22. あなたがサークル又は同好会に加入していない理由は何ですか。次のうちから一つ選んで教えてください。

〔現在、加入していない人のみ回答してください〕

〔1〕現状

平成23年度の調査では、サークルに加入しない理由は、「時間的な余裕がない」が22%、「魅力的なサークルがない」が20%、「個人の自由が束縛されるおそれがある」が17%でした。この結果は、平成21年度の調査結果と比較すると、「時間的な余裕がない」が6%減少し、「魅力的なサークルがない」が4%減少し、「個人の自由が束縛されるおそれがある」が9%減少していました。なお、「その他」が、平成21年度で18%だったのに対して、平成23年度で33%まで増加していました。

〔2〕課題(問題点)

今回の調査で、「その他」が大幅に増加しました。現状では、サークル又は同好会に加入していない理由が多様化しているのか、あるいは例示した項目以外のものが増加しているのか不明です。この点を明確にする必要があると思います。

〔3〕対応

今後、本設問については、工夫の余地があると思われます。

〈グラフ22〉

